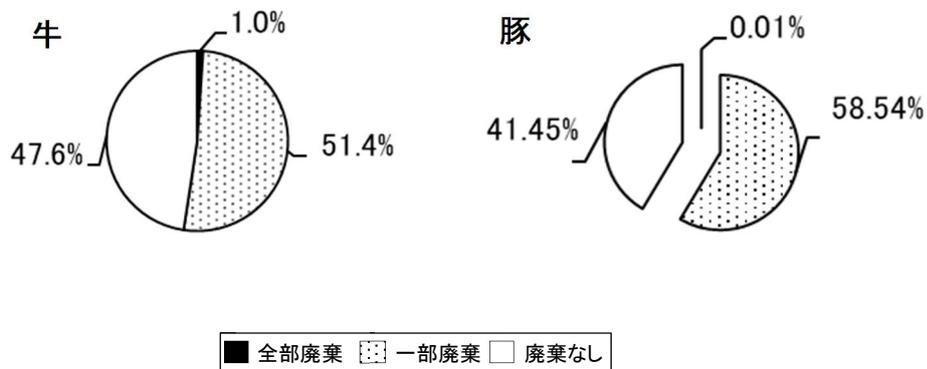


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和6年7月～令和6年9月)

畜種	牛		とく		豚		山羊	
	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
と畜検査頭数	1,086		0		15,615		0	
実頭数	10	564	0	0	1	8,234	0	0
廃棄の原因	放線菌症	0	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	191	0
	ジストマ	0	1	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	1	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	1	0	0
	敗血症	1	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	2	0	0	0	0	0	0
	水腫	3	133	0	0	0	61	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	351	0	0	0	6,166	0
	変性萎縮	0	254	0	0	0	2,804	0
	牛伝染性リンパ腫	4	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	95	0	0	0	804	0	
計	10	835	0	0	1	10,026	0	0

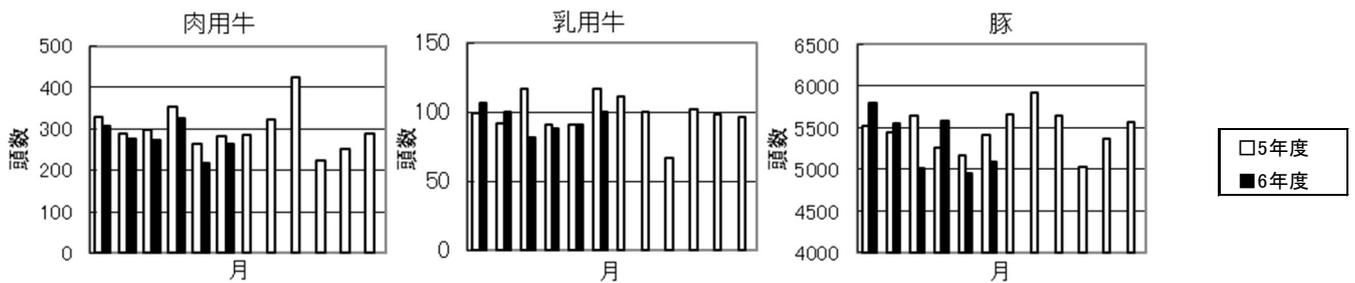
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和6年度）（とくを除く）

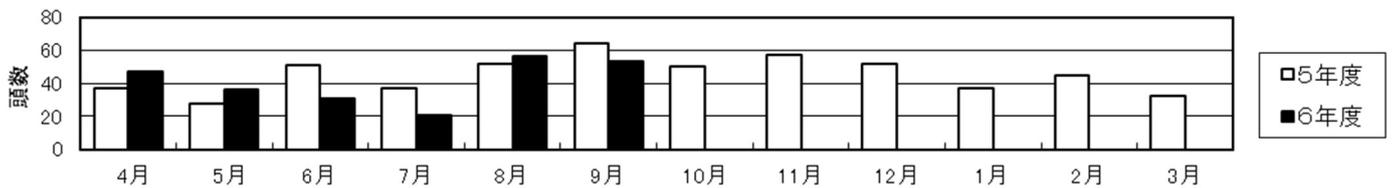
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度肉用牛	330	288	298	354	265	281	286	324	424	225	253	287	3,615
6年度肉用牛	307	276	273	325	219	263							1,663
前年比(%)	93.0	95.8	91.6	91.8	82.6	93.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.0
5年度乳用牛	99	92	117	91	91	117	111	100	67	102	98	96	1,181
6年度乳用牛	107	100	82	88	91	100							568
前年比(%)	108.1	108.7	70.1	96.7	100.0	85.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.1
5年度豚	5521	5448	5646	5252	5167	5414	5663	5927	5647	5032	5365	5570	65,652
6年度豚	5794	5551	5009	5588	4943	5084							31,969
前年比(%)	104.9	101.9	88.7	106.4	95.7	93.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.7

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和6年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	37	28	51	37	52	64	50	57	52	37	45	32	650
6年度	47	36	31	21	56	53							244
前年比(%)	127.0	128.6	60.8	56.8	107.7	82.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5



7月～9月の病獣畜130頭の内訳は、牛が106頭、豚が24頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和6年7月～令和6年9月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合 (%)
		なし	あり	
7:00～12:00	129	129	0	99.2
時間外(上記以外)	1	1	0	0.8
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	130	130	0	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和6年7月～令和6年9月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	21	1	3	63	11	1	1	0	0	0	29	130
(うち時間外)	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
頭数割合(%)	16.2	0.8	2.3	48.5	8.5	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	22.3	

☆検査室等における精密検査（令和6年7月～令和6年9月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子						病理組織	肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学		
牛及びとく	2	敗血症			15				1	1	豚	0	敗血症							0	0
	0	膿毒症							0	0		1	膿毒症	1						1	0
	0	尿毒症							0	0		0	尿毒症							0	0
	2	高度の黄疸					2		2	0		0	高度の黄疸							0	0
	3	高度の水腫	3						3	0		0	高度の水腫							0	0
	4	牛伝染性リンパ腫					4	35	4	0		0	豚丹毒							0	0
	0	腫瘍の多発							0	0		0	白血病							0	0
	11	計		3	0	15	0	6	0	35		10	1	計	1	0	0	0	0	0	0

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和6年7月～令和6年9月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10
	病畜	106	212	103	3	0	3	0	0	0	209
豚	保留	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10
	病畜	24	48	24	0	0	0	0	0	0	48
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

病牛の腎臓1検体において直接法陽性であった。

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	27	54	27	0
鶏	1	2	1	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和6年7月～令和6年9月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、月齢24か月以上で、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所
 TEL：086-272-8399 FAX：086-273-2019
 E-mail：shokunikueiseikensasho@city.okayama.lg.jp
 郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。
 1～3ページについて、ホームページでも公開しています。
<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>